

1 単元 「Lesson 8 Green Festival」 (*New Crown English Course 1*)

2 指導観

- 日常生活の中でコミュニケーションを行う際には、電話で聞いたことをメモしたり、新聞などを読んで知ったことや自分の考えを相手に伝えたりするなど、複数の技能が求められる。しかし、平成31年度に行われた全国学力・学習状況調査の報告書によると、聞いた内容について適切に応じる問題の正答率及び無解答率は8.4%、42.3%であり、読んだ内容について適切に応じる問題の正答率及び無解答率は11.6%、27.3%であった。このことから、複数の技能を使用する日常的なコミュニケーションを行う力が十分に身に付いていないこと、また、複数の技能を関連させた言語活動の設定が不十分であることは、外国語科の指導上の喫緊の課題と考える。

本単元は、環境問題を解決するために自分ができることについて、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書けるようになることをねらいとしている。学習内容としては、単元の課題についてのALTからのリクエストの視聴、助動詞 **will** や **be going to** の用法の学習、富士山の環境問題などについて書かれたテキストの読み取り、環境マニフェストの作成などがある。生徒は、単元の終末において環境マニフェストを作成するために、環境問題についてのテキストを読み、そこで捉えた問題から、自分にできることを考え、英語で表現することになる。このように「読むこと」と「書くこと」を関連付けた言語活動を行うことは、複数の技能を使用してコミュニケーションを行う力を育てる上で、意義深い単元であると考えられる。

- 本学級は、〇名で構成される。事前に行った英語学習に関するアンケートの結果によると、〇%の生徒が英語を読むことは「簡単」もしくは「やや簡単」と思っていることが分かった。その一方、英文を読み、それに対する自分の考えや意見を英語で書くことについては、〇%の生徒が「難しい」もしくは「やや難しい」と思っていることが分かった。しかし、4月に行ったNRTの「読むこと」に関する問題の学級正答率及び全国正答率は〇%、〇%であり、「書くこと」に関する問題の学級正答率及び全国正答率は〇%、〇%であった。このことから、本学級の生徒は英文を読むことは難しくないと感じているが、英文を正しく読む力は十分についていないことが分かる。また、英文を正しく書く力が十分に定着していないため、生徒は英語を書くことは難しいと考えていると思われる。そこで「読むこと」と「書くこと」を関連付けた言語活動を行うことで、英文を読んだり書いたりすることに目的を持たせ、英文を正しく読んだり書いたりする力を育てることは大変意義深い。
- 本単元の指導にあたっては、環境問題を解決するために自分ができることについて、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書けるようにするために、技能統合型の言語活動を設定する。一次ではまず、単元の課題を把握させる。ここでは、ALTからの「〇の美しい自然を守るためにできることを教えて欲しい。」というリクエストを視聴させる。その際、〇町の環境マニフェストを書く必然性を持たせるために学校横の竹林の中のゴミの写真を提示する。その上で課題の達成に必要な内容を整理させるためにマッピングを行わせる。二次では、環境マニフェストの作成に必要な表現を学ばせる。ここでは、助動詞 **will** や **be going to** を用いさせて、環境問題を解決するために自分が今後することを英語で書かせる。その際、前時に行ったマッピングを参考にさせることで、生徒が何を書くべきか迷うことなくスムーズに英文を書けるようにしたい。三次では、環境問題についてのテキストを読ませ、自分に何ができるか考えさせる。ここでは、本文中の **What can we do about this problem?** という問いに対する自分の考えを書かせる言語活動を設定することで、「問題」とは何か、またその「問題」に対して何ができそうか、本文から概要や要点を捉え、自分の考えを表現しようとする主体的な読みを引き出したい。四次では、環境マニフェストを作成させる。ここでは、これまで学んだ内容や表現を振り返らせ、自分の環境マニフェストの内容を整理するためのメモを作成させる。その際、環境マニフェストに書く内容を豊かにするために、教科書をもう一度読ませ、環境マニフェストに加えられそうな内容をまとめさせたものや、一次で作成したマッピングを基にメモを作成させる。

3 目標

- 環境問題について書かれた英文を読んで、概要、要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

4 本単元における評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
(知識) ① 助動詞 will や be going to に関する事項を理解している。 (技能) ② 助動詞 will や be going to などの意味や働きの理解を基に、内容を読み取る技能を身に付けている。 ③ 環境問題を解決するために自分ができることについて、助動詞 will や be going to などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。	① 環境問題に対して自分ができることを伝えるために、富士山の環境問題について書かれたパンフレットの概要を捉えている。 ② 環境問題に対して自分ができることを伝えるために、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	① 環境問題に対して自分ができることを伝えるために、富士山の環境問題について書かれたパンフレットの概要を捉えようとしている。 ② 環境問題に対して自分ができることを伝えるために、自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

5 計画 (9時間)

次	配時	学習活動・内容	指導上の留意点	評価規準 (方法)
一	1	1 ALTからのリクエストを視聴し、単元の課題を把握するとともに、課題の達成に必要な内容を整理するためのマッピングを行う。	○ 本単元の課題である環境マニフェストを英語で作成する必要性を生徒に感じさせるために、ALTからのリクエストを視聴させる。	
二	2	2 助動詞 will の用法を学び、環境問題を解決するために自分が今後しようと思っていることを英語で書く。 ・ I will use an ecological bag. ・ I'll pick trash near my house. 3 be going to の用法を学び、環境問題を解決するために、自分が今後することや、参加するイベントについて英語で書く。 ・ I'm going to buy an ecological bag next week. ・ I'm going to join a volunteer activities.	○ 環境問題を解決するために何ができるか書かせる際に書くべき内容を生徒にもたせるために、前時に行ったマッピングを参考にさせる。 ○ 環境を守るためにどのような取り組みが行われているか知らせるために、○町及びその近隣の地域で行われている環境保全の取組を示す。	ア① (ワークシート) ア① (ワークシート)
三	4	4 教科書p.128を読み、川を綺麗にするために何を行うか読み取る。 5 教科書p.130を読み、今週末、花が何をするのかなど概要を捉える。	○ 読んだことを書くことに結びつけさせるために、教科書のテキストの中で、環境マニフェスト作成に使えそうな英文を探させる。 ○ 花の予定を捉えさせるために、be going to に着目させる。	
	本時	6 教科書p.132を読み、富士山の環境問題を捉え、その解決策を英語で書く。 (1) 英文を読み、概要を捉える。 ・ Q: What is this article talking about? ・ A: Mt Fuji isn't beautiful. (2) 英文の中から「問題」を示す文を見つけ、下線を引く。 ・ Many of them dropped litter on paths. ・ They left behind plastic bottles and cans. ・ The paths were messy. (3) 「問題」を解決するための方法を英語で書く。 英文確認の視点 ・ 英文が「誰が→できる→どうする→何を」の順番になっている。 ・ 「問題」を解決するための具体的な内容が書かれている。 ・ 書かれた方法でなぜ「問題」を解決できるか読み手が理解できる。	○ 単元末の環境マニフェスト作成の際に書くべき内容や活用できる表現に気づかせるために、教科書本文にある富士山の環境問題を読んで、自分の考えを書く活動を設定する。 ○ 英語が苦手な生徒に「問題」を示す文を見つけさせるために、"Mt Fuji isn't beautiful."とは具体的にはどのような状況なのか予想させてから英文を読ませる。 ○ 英語が苦手な生徒に自分の考えを英文で書くことを促すために、英文を書かせる前に英文の語順を全体で確認する。 ○ 個人で書いた方法が妥当かどうか検討させるために、ペアで英文を交換させ、視点に基づいて英文が妥当かどうか確認させる。 ○ 様々な英文を全体で交流するために、生徒にタブレットを用いさせて英文を教師に送信させる。教師はそれらをモニターに提示し、いくつかの英文を取り上げ、全体に示す。	ア② イ① ウ① (ワークシート)
		7 教科書p.133を読み、ボランティアがしていることなど概要を捉える。	○ 英語が苦手な生徒の読みを促すために、各段落にどのような内容が書かれているか全体で確認する。	

四	2	8 これまで学んだことを振り返り、自分の環境マニフェストの内容を整理するためのメモを作成する。 9 作成したメモを基に環境マニフェストを英語で書く。	○ 環境マニフェストに書く内容や表現を豊かにするために、教科書をもう一度読ませ、環境マニフェストに加えられそうな内容や表現をまとめさせたものや、一次で作成したマッピングを基にメモを作成させる。 ○ 英語が苦手な生徒がスムーズに環境マニフェストを書けるようにするために、環境マニフェストの構成と全員が共通して使える表現を全体で共有する。	ア③ イ② ウ② (ワークシート)
定期 考查		読んだ内容について適切に応じる力が身についたかどうか検証するために、類似問題を定期考查で出題する。		イ① (類似問題)

6 本 時 令和3年〇月〇日(〇) 〇校時 計画 第三次の3 1年〇組教室にて

(1) 本時の指導観

本時では、英文の中から社会的問題を見つけ、その解決策を英語で書く活動を通して、英文から捉えた内容に対して自分の考えを英語で書くことができるようになることをねらいとする。そこでまず、英文を読ませ、問題を解決するために何ができるか考えさせる。その際、学習課題を解決するために何が分からないといけないか気づかせるために、自力で課題に取り組みさせる。次に、英文の中から「問題」を示す文を見つけさせ、下線を引かせる。その際、英語が苦手な生徒が「問題」を示す文を見つけやすくなるように、「Mt Fuji isn't beautiful.」とは具体的にはどのような状況なのか予想させてから英文を読ませる。さらに、「問題」を解決するための方法を英語で書かせる。その際、個人で書いた方法が妥当であるかどうか検討させるために、ペアで英文を交換させ、視点に基づいて英文の内容や表現が妥当かどうか確認させる。最後に、本時の振り返りとまとめを行う。その際、書かれた内容に対して、自分の考えを英語で示す時に気をつけるべきことを振り返らせるために、学習課題を解決する過程に沿って振り返りを行わせる。

(2) 主 眼

○ 英文の中から社会的問題を見つけ、英文から捉えた内容に対する自分の考えを英語で書くことができる。

(3) 準 備

①ワークシート ②タブレット ③大型モニター

(4) 過 程

学習活動・内容	指導上の留意点	形態	配時
1 英文を読み、課題を捉える。 ・ What can we do about this problem? <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 予想される生徒の記述 ・ We clean Mt Fuji. ・ (無回答) </div>	○ 英文に関係がある知識を呼び起こすことで英文の理解を促すために、英文を読ませる前に富士山の写真を提示して、富士山に関する簡単なやり取りを英語を用いて教師と生徒で行う。その際、「Mt Fuji has a problem. What's the problem?」と問い、読む前に英文の内容を予想させる。 ○ めあてにつなげるために、指導を行ったり、クラスメイトと協力したりさせず、自力で課題に取り組みさせる。	個	8
2 めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「問題」とは何か正しく捉えて、自分の考えを英語で表現しよう。 </div>	○ 「問題」を正しく捉えることが必要であることに気付かせるために、「自分の考えを書くために必要なことは？」と問い、「問題」を解決するための方法を問われていることを全体で確認する。	一斉	2
3 英文をもう一度読み、概要を確認する。 ・ Q: What is this article talking about? ・ A: Mt Fuji isn't beautiful.	○ 記事の細部まで読み取らせるのではなく、概要を掴ませるために、難しい部分は読み飛ばしても良いことを伝える。	個	5
4 英文の中から「問題」を示す文を見つけ、下線を引く。 ・ Many of them dropped litter on paths. ・ They left behind plastic bottles and cans. ・ The paths were messy.	○ 英語が苦手な生徒に「問題」を示す文を見つけさせるために、「Mt Fuji isn't beautiful.」とは具体的にはどのような状況なのか予想させてから英文を読ませる。	個	5

<p>5 「問題」を解決するための方法を英語で書く。 (1) 自分の考えを書く。 (2) 考えの妥当性についてペアで交流する。 (3) 内容や表現について全体で交流する。</p>	<p>○ 英語が苦手な生徒に自分の考えを英文で書くことを促すために、英文を書かせる前に英文の語順を全体で確認する。 ○ 個人で書いた方法が妥当かどうか検討させるために、ペアで英文を交換させ、視点に基づいて内容や表現が妥当かどうか確認させる。 ○ 様々な英文を全体で交流するために、生徒にタブレットを用いさせて英文を教師に送信させる。教師はそれらをモニターに提示し、いくつかの英文を取り上げ、全体に示す。</p>	<p>個 ↓ ペア ↓ 一斉</p>	<p>25</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">交流の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問題」を解決するための具体的な内容が書かれているか。 ・言いたいことが伝わる語順になっているか。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">予想される生徒の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ We can clean Mt Fuji. ・ We can tell about Mt Fuji. </div>	<p>○ 書かれた内容に対して、自分の考えを英語で示す時に気をつけるべきことを振り返らせるために、「英文を読むときに気をつけること」「書く内容を考えるときに気をつけること」のように、学習課題を解決する過程に沿って振り返りを行わせる。</p>		
<p>6 本時の振り返りとまとめを行う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>書かれた内容に対して自分の考えを示すコツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な文に線を引く。 ・具体的な内容を考える。 </div>		